

は し が き

英語でも国語でも、語学力を見るには作文をさせれば、その力がいちばんよくわかると言われる。客観テスト一辺倒の時代が反省され、国立大だけでなく私大でも、徐々にではあるが英作文が増えていることは、「思考力」をつけるためにも喜ばしいことである。

本書は短期間に英作文の力をつけられるよう短文・長文それに「自由英作文」などの新傾向問題の良問 100 題余を精選した。書き込み欄を設けたノート形式になっているので、添削ノートとしても活用していただきたい。

《本書の編集方針》

1. 練習問題は、最近の大学入試問題の中から 100 題選び、文法項目によって 10 章に分類・編集した。
2. 章の初めに **Useful Expressions** をあげ、要点を太字で表示した。
3. 答案作成の手掛かりになる「語句」「考え方」を最小限掲載した。
4. 巻末特集として「新傾向問題」を 11 題収録し、増加しつつある長文の問題や、従来の和文英訳のスタイルを超えた「自由英作文」の問題にも対処できる実力が養えるよう配慮した。

《本書の活用法》

1. **Useful Expressions** を暗唱して、重要な構文や表現を身に付ける。
2. 答案は必ずペンを持って、解答欄に自分の文字で書くようにする。そのとき、**Useful Expressions** で覚えた事項で応用できるものは取り入れる。
3. 英文を書くときには、完全に自分のものとなっている語句や表現を使い、できるだけ平易な文章になるように心掛ける。
4. 「語句」や「考え方」を参照しながら、辞書や参考書も使って、十分に時間をかけ、自分の考えで英語を書くように努める。
5. 答案は授業の際、先生の解説や指導によって訂正・確認し、自信が持てる英文になるまで磨き上げる。

このような学習態度を習慣にして、着実な努力を続ければ、英作文の授業が楽しくなり、真の実力が身に付くはずである。

編 者

目 次

1. 基本時制	4
2. 受動態	12
3. 助動詞	20
4. 不定詞	28
5. 分詞	36
6. 動名詞	44
7. 比較	52
8. 関係詞	60
9. 名詞節	68
10. 副詞節	76
[巻末特集] 新傾向問題	84

1. 基本時制

USEFUL EXPRESSIONS

1. He usually **reads** a newspaper before going to work.
2. I'll teach you how to drive when you **are** old enough.
3. If you **don't hurry**, you'll miss the train.
4. He **has made** up his mind to become a lawyer.
5. I **have never been** to a professional soccer game.
6. He **has been** principal of the school since 1994.
7. My sister **has been studying** French for two years.
8. When she woke up, the sun **had** already **risen**.
9. He **had been** in the hospital for a week when I visited him.
10. By next May he **will have been** in office for six years.

1. あなたが貸してくれた本をまだ読み終わっていません。

(神戸女子大)

考え方 「まだ読み終わっていません」は「今まだ読んでいる」という現在の事実重点が置かれているので現在完了形を書く。「あなたが貸してくれた」は「あなたが私に貸した」のほかに「私があなたから借りた」とも書ける。

2. テレビに昨夜出ていた作家にわたしは会ったことがある。

(和洋女子大)

考え方 「会ったことがある」は現在までの経験を表す現在完了形を用いる文になるが、'once + 過去形' の形でも書ける。「昨夜出ていた」は進行形でなく過去形で書くのがよい。

3. 駅に着いたころには、私たちの乗る電車はもう出てしまっていた。

(同志社大)

考え方 「着いたころには」は「着いた時までに」でも、単に「着いた時に」でもよい。「私たちの乗る電車」では、「～する予定である」の意味の 'be to + 原形動詞' の形が使える。

4. 日本では今年の冬は例年になく寒さが厳しく、春が待ち遠しい感じです。 (大分大)

考え方 「寒さが厳しく」は現在形でも、現在までの継続を表す現在完了形にしてもよい。「待ち遠しい感じです」では feel を使わずに「切に待っている」とする。

5. この秋、京都にいらっしゃるなら、ご滞在中にぜひ金閣寺を訪ねられるといいでしょう。 (京都産業大)

考え方 「この秋いらっしゃるなら」は未来に関することであるが、時・条件を表す副詞節においては、未来に関することには現在形を用いる。「ご滞在中」は during を用いる句にしても、while を用いる節にしてもよい。

6. いつもは学校に遅刻することはないのに、今日は学校に着いたときにはもう1時間目の授業が始まっていた。

(小樽商科大)

考え方 「学校に遅刻する」と「学校に着いた」の「学校」は、「建物」を表すのではなく、その本来の目的である「授業」を表すと考えて、無冠詞にする。「1時間目の授業が始まっていた」は、「学校に着いたとき」という過去のある時点において「授業が始まっていた」のだから、過去のある時までの完了・結果を表す過去完了の文にする。「1時間目の授業」は単に「1時間目」として「授業」に当たる英語は書かなくてよい。